

AIDS UPDATE

No.83 2008. 6.4

広島大学病院
エイズ医療対策室
内線5581(輸血部長室)
Internet:www.aids-chushi.or.jp

HIV検査普及週間のお知らせ

6月1日～6月7日 主唱:厚生労働省・(財)エイズ予防財団

目次:

HIV検査普及週間の お知らせ	1
広島県内HIV検査 無料検査・相談リスト	2.3
6/7(土)普及週間 イベントのお知らせ	3
HIV感染の危険性の ある人に検査を勧める シリーズ	4
広島市医師会 エイズ研修会報告	5

HIV感染者・エイズ患者新規報告数は、依然として増加傾向にあります。平成16年にはじめて1,000件を突破した新規報告数は平成17年も前年を上回り、平成19年5月22日に開催されたエイズ動向委員会の発表によると、平成18年においても続けて過去最高を記録するなど、予断を許さない状況となっています。

また、診断時には既にエイズを発症している事例が約3割を占めており、これは、早期発見のための検査機会を逸していることによるものと考えられています。

そこで、HIV検査普及週間を機会に、国や都道府県等が行う検査・相談体制の充実を図る取組みを強化することにより、国民のHIVやエイズに対する関心を喚起し、HIV検査の浸透・普及を図ることとしています。

(エイズ予防財団HPより)



HIV(エイズ)検査普及週間中、広島FMをはじめ全国のFM放送局で左のアンジェラ・アキさんのメッセージが流れます。

メッセージをお聴きになりたい方は広島県のHIV検査普及週間inひろしまのページからダウンロード出来ます。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/>

広島県内では普及週間に伴い、臨時検査日を設けています。(裏面参照) また広島県では次にお知らせします、6/7(土)の該当キャンペーンでの普及啓発を行う予定です。

みなさんもこの機会に検査を受けてみませんか？

上記T E R Uのポスター(院内に掲示しています)の横には、広島県の無料検査所・相談所の案内を置いていますので、ご自由にお取り下さい。



広島県内 HIV検査・相談のできるどころ（無料・匿名）
 検査をご希望の場合は事前に電話予約してください。
 はHIV検査普及週間の臨時検査日です。

名称	電話番号	検査実施日	実施時間	迅速検査
広島地域保健所	0829-32-1181	第3水曜日	10:00-11:30	
広島地域保健所海田分室	082-822-5114	第2水曜日	9:00-11:00	
呉地域保健所	0823-22-5400	第2水曜日	9:00-11:00	
芸北地域保健所	082-814-3181	第3月曜日	9:00-11:00	
東広島地域保健所	082-422-6911	第1・第3火曜日	9:00-11:30	
尾三地域保健所	0848-64-2322	第2・第4水曜日	9:00-16:30	
福山地域保健所	084-921-1311	第2火曜日	8:45-15:15	
		6月・12月のみ	17:45-19:30有	
備北地域保健所	0824-63-5181	第2水曜日	13:00-15:00	
広島市中保健センター	082-504-2528	毎週月曜日	18:00-20:00	
		毎週水曜日	9:00-11:00	
		6月2日(月)	13:00-18:00	
		6月4日(水)	13:00-16:00	
		6月6日(金)	13:00-16:00	
広島市東保健センター	082-568-7729	毎週月曜日	9:00-11:00	
		6月9日(月)	11:00-17:00	
広島市南保健センター	082-250-4108	毎週金曜日	9:00-11:00	
		6月6日(金)	11:30-13:30	
広島西保健センター	082-294-6235	毎週火曜日	9:00-11:00	
		6月2日(月)	9:00-11:00	
		6月4日(水)	9:00-11:00	
広島市安佐南保健センター	082-831-4942	毎週木曜日	9:00-11:00	
		6月2日(月)	9:00-11:00	
		6月2日(月)	13:30-15:00	
広島市安佐北保健センター	082-819-0586	第1・第3木曜日	9:00-11:00	
広島市安芸保健センター	082-821-2808	毎週火曜日	9:00-11:00	
広島市佐伯保健センター	082-943-9731	毎週木曜日	9:00-11:00	
		6月5日(木)	14:00-17:00	
呉市保健所 (すこやかセンターくれ)	0823-25-3525	第1火曜日	9:00-11:00	-
		6月2日(月)	17:00-19:00	
呉市保健所東保健センター	0823-71-9176	第3水曜日	9:00-11:00	-
福山市保健所 (すこやかセンターふくやま)	084-928-1127	月3回(水曜日)	第1.3・9:00-11:00 第4・14:30-16:30	
		奇数月第2木曜日	17:30-20:30	
イコールふくやま (福山ロッソ地下2階)	福山市保健所 084-928-1127	6月7日(土)	11:30-15:30	
広島県エイズホットライン	082-242-0812	毎週土日 毎月第1土曜を除く	9:00-16:00	-
広島県エイズ日曜検査 (県立広島病院内)	広島県エイズホットライン 082-242-0812	毎月第2・第4日曜日	13:00-16:00	



広島県内 HIV検査・相談のできる医療機関（有料検査です）
検査をご希望の場合は事前に電話予約してください

名称	電話番号	検査実施日	実施時間	迅速検査
県立広島病院	082-252-6228	毎週月～金	12:00-15:00	
広島大学病院	082-257-5351	毎週火・木曜日	13:30 - 15:30	
河野産婦人科クリニック	082-242-1505	毎週木・日曜日以外	9:00-18:00	
HIV検査についての相談所				
広島県保健対策室	082-513-3070	-	8:30-17:00	-
広島市保健医療課	082-504-2622	-	8:30-17:00	-
広島県エイズホットライン	082-242-0812	-	9:00-16:00	-
広島エイズダイヤル(相談のみ)	082-541-0812	毎週水曜日	10:00-13:00	-
		毎週土曜日	18:00-21:00	-

6月7日(土)エイズ検査普及週間イベントのお知らせ 「とうかさん」でエイズ検査を受けてみませんか？

厚生労働省が主唱するHIV抗体検査普及週間に合わせて、臨時検査を行います。スクリーニング検査には、約15分で検査結果が判明するIC法を用い、採血をした当日に検査結果を聞くことができます。

日時：平成20年6月7日(土) 15時～20時

場所：ユノ川クリニック（広島市中区新天地5番14号）
*アリスガーデン前（南側）もみじ銀行新天地支店のビル3階

主催：広島県、広島市、社団法人広島県臨床検査技師会

協力：財団法人エイズ予防財団、広島県臨床心理士会、
りょうちゃんず、ユノ川クリニック、
広島大学病院エイズ医療対策室 等

内容掲載HP：<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1212057530375/index.html>



HIV感染の危険性がある人に 検査を勧めること

シリーズ HIVはどこに、どれだけいるか
HIVはどのように侵入するか
どんな人に検査を勧めるか

HIVはどこに、どれだけいるか

エイズの原因であるHIV(ヒト免疫不全ウイルス)の感染を規定する要素は、他の感染症と同じで、病原体、感染経路、そして感受性を持った個体です。

HIVは免疫細胞に感染します。細胞の核の中にDNAの形で組み込まれた場合、増殖の種みたいなもので感染源にはなりません。

感染性のウイルス粒子は濃度の高い順に、精液、血液、髄液、母乳の体液成分に含まれています。

ウイルス粒子の中にHIVの遺伝子はRNAの形で2本ずつあります。

血液の中のウイルス量は、1mLあたりのコピー数は10の3乗から5乗で分布し、4乗あたりが平均的な量です。B型肝炎ウイルスでは10の8乗から10乗、C型肝炎ウイルスでは10の4乗から6乗程度です。

体液中のウイルスの濃度と体液量を掛けあわせたウイルスの絶対量が、感染経路別の感染効率を決めていると考えられます。

HIVはどのように侵入するか

ウイルスの侵入門戸としては、肛門、膣、尿道、口腔の粘膜です。粘膜の下にいる樹状細胞という免疫細胞が最初に感染します。皮膚を突き破るのは輸血や汚染した針の使用(事故)の場合です。アメリカの疾病管理センターの文書では、感染行為別の危険度を表のように表しています。

【表1】

同じ感染危険行為があっても、感染しにくい個体があることがわかっています。感染予防や新しい治療薬開発研究のポイントになっていますが、現在利用できる情報はありません。

【表1】相手がHIV感染者の場合
性行為1回あたりの相対的な感染危険性

性行為の種類	相対的危険度
挿入側のフェラチオ	1
受け側のフェラチオ	2
挿入側の膣性交	10
受け側の膣性交	20
挿入側の肛門性交	13
受け側の肛門性交	100
コンドームの使用あり	1
コンドームの使用なし	20

出典：MMWR 2003;52(No.RR-12)

どんな人に検査を勧めるか

ご自身の感染リスクを自覚してエイズ検査を求めて来られる方には、検査のタイミングと検査の意義を確認すること、陽性の場合の支援策の確保がポイントです。ところが無自覚で無症状な人への検査の勧めは難しいものです。

最近アメリカでは救急外来の受診者や入院時のルーチン検査が始まりました。

日本の献血者でのHIV陽性数は、1年間に10万人あたり1.7人です。このため網羅的な検査や健康診断に組み込むのはコスト・ベネフィットにあわないと考えられます。

一方、HIV陰性という証拠がない人と、コンドームを使わない性行為があり、発熱などの急性症状やエイズ症状があり、さらに梅毒などの性行為感染症があれば、HIVにも感染している確率は高くなります。

(輸血部長・エイズ医療対策室長 高田 昇)

広島市医師会エイズ研修会 ご報告

エイズ医療対策室 臨床心理士 喜花 伸子

広島市医師会エイズ研修会について

広島市医師会では市民総合健診でのエイズ相談に備えて、担当医師6名を対象としたエイズ相談研修会を年1回行っています。

今年で12回目となるこの研修会には、のべ72名の医師が参加されたこととなります。

エイズ相談というイベントのための研修会ではありますが、参加した医師が後に診療場面でHIV検査を勧め、HIV陽性と判明したケースも3例あるということで、検査の普及にも繋がっていると言えるでしょう。

今年の研修会内容

今年の研修会は4月19日に行われ、エイズ医療対策室からは医師の高田、臨床心理士の喜花、看護師の鍵浦が講師として参加してきました。また、派遣カウンセラーの品川さんにもお手伝いいただきました。

プログラムは、医師によるHIV検査のための基礎知識の講義、臨床心理士による検査前後の対応についての講義、ロールプレイと進みました。

今回のロールプレイでは、抗体検査の結果は告知する先生にくじを引いてもらうことで決定し、告知の瞬間まで他の者は結果を知らないというやり方で行いました。

ディスカッション内容

講義やロールプレイの前後には、参加者の積極的な質問により、ディスカッションをすることができました。

話し合われたテーマは「限られた時間で初対面の相手に対して、どこまで予防行動につなげる話ができるだろうか」、「また陽性告知時に十分な心理的フォローができるだろうか」などでした。

特に心理的フォローについては、前回研修会に参加いただいた医師から、陽性告知時には派遣カウンセラーの力を借りることもできるので、安心できるとのコメントもいただきました。

研修会を重ねるごとに、参加者の方々に、HIV検査の重要性や検査時に必要な配慮についての理解が深まってきていると感じます。

今回の研修会が、今後の診療中での必要な方への検査、そしてよりよい告知に繋がるという形でお役に立てれば幸いです。

HIV派遣カウンセラーとは

HIV感染者やその家族などの心理社会的支援を行うため各自治体により任命され、医療機関に派遣されるカウンセラーのこと。

担当医師が自治体の窓口で派遣依頼を出すことで派遣される。感染者や医療機関に費用負担の必要はない。感染告知直後の心理的危機介入や継続的なカウンセリングを行っている。

<ご意見募集>

ご意見やご希望がありましたら、エイズ医療対策室(5351/5581)までお寄せください。

[HAMAMOTO]